



4月のタイ景気は引き続き鈍化傾向

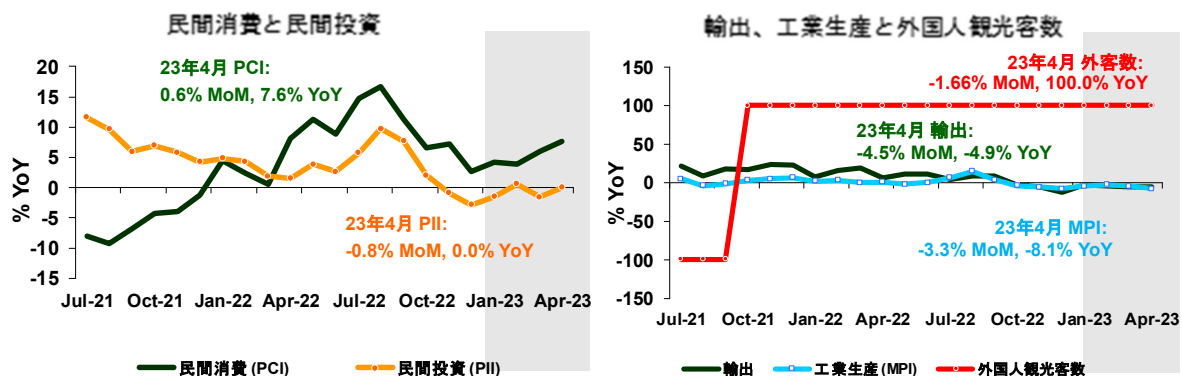
要点

- 2023年4月のタイ経済は引き続き成長が鈍化しました。輸出停滞の要因で製造業の生産や民間投資を下押ししています。一方で、タイを訪れる外国人旅行者の回復を背景に、サービス部門などの個人消費が改善しています。
- 2023年5月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比0.53%上昇しましたが、21ヶ月で最低水準になりました。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比1.55%増と、前月から減速しています。
- カシコンリサーチセンターは、2023年の豚の養豚場出荷価格が前年比7.5~11.5%減の1キログラム当たり88~92パーツに下がると予測します。昨年はアフリカ豚熱（ASF）の流行などの影響で豚の供給が不足し、1キロ99.5パーツと記録的な高値になりましたが、今年は供給量が回復して、値下がりする見通しです。
- ASFの流行前に比べると依然として高値を維持しているものの、飼料費やASFの再発を防止するための管理費など養豚農家の生産コストは上昇していることから、中小の農家は苦しい経営が続いています。

タイ経済の動向

□ 2023年4月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2023年4月の重要な経済指標によると、タイ経済は引き続き成長が鈍化しました。輸出が収縮したことにより、製造業の生産や民間投資を下押ししています。一方で、タイを訪れる外国人旅行者の回復を背景に、サービス部門などの個人消費が改善しています。

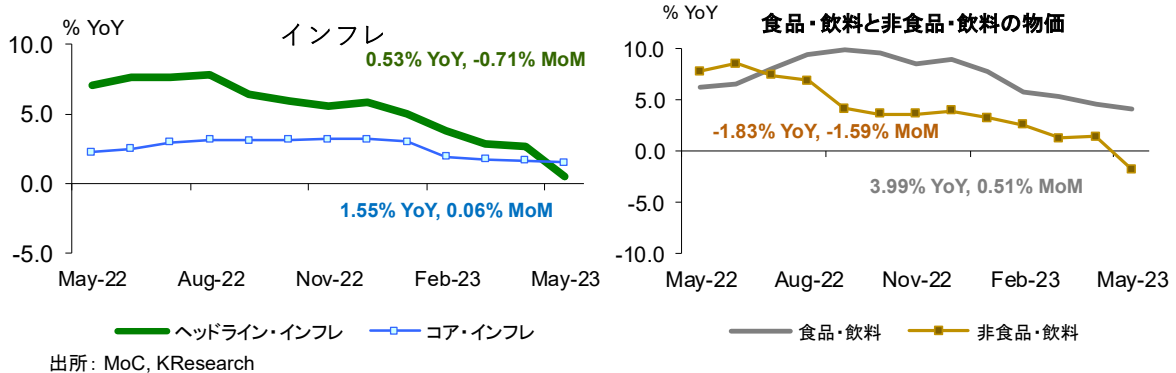


4月の民間消費は前年同月比7.6%拡大し、前月から加速しました。サービスが24.0%増と全体を牽引しています。このほか、耐久消費財は1.3%、非耐久消費財が0.9%拡大したものの、半耐久消費財が1.4%の縮小となりました。

一方で、民間投資は、前年同月比0.0%増となりました。機械・設備を中心とした資本財の輸入が3.7%減となったほか、商用車の販売が17.8%減でした。

4月の輸出は、前年同月比4.9%減の215億米ドルとなりました。輸出は主な仕向け地で需要が停滞していることから、悪化が続いています。

工業生産に関しては、前年同月比8.1%縮小しました。輸出の落ち込みが製造業の業績を下押ししています。一方で、タイを訪れる外国人の増加で、観光業を中心にサービス業と消費が活発になっています。



商務省が発表した2023年5月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比0.53%上昇しましたが、21ヶ月で最低水準になりました。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比1.55%増で、前月から減速しています。

食品・飲料部門は3.99%上昇しました。果物・野菜が15.8%と、最も上昇率が高まりました。それ以外では卵・乳製品が5.13%、米・粉製品が3.56%、魚類が3.26%、非アルコールが4.22%の上昇となっています。

2023年の豚の出荷価格が前年比7.5～11.5%減の見通し

カシコンリサーチセンターは、2023年の豚の養豚場出荷価格が前年比7.5～11.5%減の1キログラム当たり88～92 パーツに下がると予測します。昨年はアフリカ豚熱 (ASF) の流行などの影響で豚の供給が不足し、1キロ99.5 パーツと記録的な高値になりました。今年は供給量が回復して、値下がりする見通しです。

ASFの流行前に比べると依然として高値を維持しているものの、飼料費やASFの再発を防止するための管理費など養豚農家の生産コストは上昇していることから、中小の農家は苦しい経営が続いています。

タイではASF流行の再発リスクや天候不順により向こう2年間は豚の供給不足が続き、近隣国から短期的に輸入する必要があると出てくる可能性もあります。

監修: カシコンリサーチセンター

本資料は情報提供を唯一の目的としており、ビジネスの判断材料とするものではありません。掲載されている分析・予測等は、資料制作時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、予測の妥当性や正確性が保証されるものでもありませんし、商業ないし何らかの行動の為に採用することから発生した損害の責任を取れるものでもありません。本資料の予測・分析の妥当性等は、独自でご判断ください。